

- 福島県の特殊教育の現状と今後の方向
義務教育課指導主事 中丸良彦
- これからの特殊教育
国立特殊教育総合研究所
精薄教育研究部長 松原隆三
- 特殊教育に必要な精神医学的基礎知識
福島大学教授 尾野成治

イ、研究協議

- 特殊学級設置・運営上の諸問題について

(2) 特殊教育担当教員研修会

① 趣 旨

県内の特殊教育担当教員（新任担当及び1～2年の経験者）を対象として、特殊教育に関する講義・演習を行い、特殊教育に対する基礎的教養を高める。

② 主 催 福島県教育委員会

③ 期 日 昭和49年8月6日～8日 3日間

④ 会 場 福島県教育センター

⑤ 講 師

国立特殊教育総合研究所

重複障害研究部長 大坪明徳

東洋学園長 長沼幸一

⑥ 参加者 110名

⑦ 内 容

ア、講 義

- 養護学校の義務制をめぐって
国立特殊教育総合研究所
重複障害研究部長 大坪明徳
- 心身障害児の教育と福祉
東洋学園長 長沼幸一
- 特殊教育上の諸問題
義務教育課主幹 渋谷靖十郎
- 本県における特殊教育の現状と問題点
義務教育課指導主事 中丸良彦
- 私の特殊教育
小・中・養護学校より依頼した助言者

イ、研究協議

- 学習指導上の諸問題について
- 学級経営上の諸問題について

(3) 昭和49年度精神薄弱教育課程福島県集会

① 目 的

小学校及び中学校の精神薄弱特殊学級における教育課程に関する指導上の問題点について、部会別に研究協議し、その解明を図り、もって教職員の指導力向上と学習指導の改善に資する。

② 主 催

文部省、福島県教育委員会、郡山市教育委員会

③ 期 日 昭和49年8月19日～20日 2日間

④ 会 場 郡山市芳山小学校

⑤ 講 師

東京都立立川養護学校長 梅沢雄一

⑥ 参加者 120名

⑦ 内 容

ア、課 題

児童・生徒の精神発育の遅滞の程度に応じた教育課程はどのように編成したらよいか。

イ、研究発表並びに研究協議

ウ、講師による指導講演

精神薄弱教育課程編成上の諸問題

東京都立立川養護学校長 梅沢雄一

(4) 昭和49年度心身障害児判別・就学指導講習会

① 趣 旨

県内において心身障害児の判別と就学指導等に従事している者に対し、昭和49年度心身障害児判別・就学指導研究協議会の成果を伝達するとともに、判別・就学指導に必要な実技を研修し、その資質の向上を図り、もって心身障害児の適正な判別と就学指導を期する。

② 主 催 文部省、福島県教育委員会

③ 期日及び会場

県北 福島県教育センター 11月11日・12日

県南 郡山市中央公民館 11月25日・26日

会津 会津若松市中央公民館 11月27日・28日

浜 原町市文化センター 1月22日・23日

④ 講 師 義務教育課担当管理主事

同 指導主事

関係教育事務所担当指導主事（4名）

児童相談所 心理判定員（4名）

実技担当講師（8名）

⑤ 参加者

県北会場 115名

県南会場 147名

会津会場 123名

浜会場 95名 計 480名

⑥ 内 容

ア、講 義

- 判別・就学指導の現状と今後の方向
- 特殊学級の編制と就学について

イ、実 技

- 保護者との教育相談の進め方
- 行動観察法
- 判別・就学指導に必要な諸検査法
 - ・ 知能検査法 精神発達検査法
 - ・ 社会生活能力検査 運動能力検査

ウ、研究協議

事例により総合判別

3 内地留学・長期研修派遣

(1) 東京教育大学へ

1年間 難聴教育

河沼郡柳津町立柳津中学校教諭 山内宏裕

双葉郡浪江町立浪江小学校教諭 山尾利男

いわき市立田人第一小学校教諭 大平洋

1年間 弱視教育

福島市立吾妻中学校教諭 永林忠

郡山市立芳賀小学校教諭 渡辺広亀

(2) 国立特殊教育総合研究所へ

1年間 中重度精神薄弱教育

福島市立福島養護学校教諭 石井満